

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら上野毛

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	3	1	1	大部屋3名同時利用だと狭く感じるため、屋外や小部屋を活用しています。小部屋のタイミングなどを考慮し、出来る限り広く使えるようにしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3	1	配置数は満たしていますが、電話対応や訪問者の対応、フィードバック対応など余裕がない時があるため、余裕をもった人員配置ができるよう努めます。職員が働きやすい環境づくりを目指し、整備して参ります。また社員研修を積極的に行って参ります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3		防振対策として工事を行ったため、大部屋に段差がありますが、段差に注意しながら活動を実施してまいります。引き続き安全管理に留意しながら活動を行ってまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	5			全職員が理解し取り組むことができています。引き続き、支援の充実を図ります。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	5			HP上で公表していますので、今後も継続してまいります。日ごろのフィードバック時などで意向を把握するように努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			HP上で公表していますので、今後も継続してまいります。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	2	外部評価は実施していませんが、引き続き社内でのチェックを定期的に行ってまいります。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	5			引き続き各分野での研修を実施し、必要に応じた内容を行ってまいります。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			引き続き定期的なアセスメントの実施を行ってまいります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			引き続きスタジオそらアセスメントを使用してまいります。必要に応じて新しいスタッフなどの研修を実施します。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		引き続き打合せの時に確認しながらプログラムを立案していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			引き続き打合せの時に確認をし、子どもが飽きないような工夫をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	1	4		個別での固定制のため、休日や長期休みでの大きな変化はありません。イベントなどを実施し他児との関わりの機会を設けています。運動について、実施可能な活動内容を確認し、課題の設定を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		小集団クラス自体が少ないですが、必要に応じて小集団との併用を提案し案内しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			引き続き朝礼と昼礼で支援内容を確認していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5			引き続き終礼で振り返り共有をしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			引き続き記入漏れや内容の確認を行い、適切な記録をとっていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			引き続き定期的にモニタリングを実施し、チームで見直しの必要性を判断していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1		子どもの課題にもよりますが、アセスメント時には幅広く課題を把握するようにしています。スタッフ一人一人のガイドラインの理解を深めていきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	4		感染症対策の為、実施がありませんでしたが、電話でのモニタリングなどは実施しています。必要に応じて連携してまいります。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時対応、トラブル対応）を適切に行っているか	2	2	1	HPや保護者様から聞き一方的に確認はしていますが、共有はありません。全ての把握は行っていないが必要な情報は保護者の方を通じて確認しています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	現在対象者は利用していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		就学児について、就学前に利用していた事業所との情報共有は現在のところありません。保護者からの要望があれば対応しています。
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		3	2	移行まで支援継続している対象児が今はいませんが、今後必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	2	助言や研修の機会は少なかったですが、必要に応じて参加してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	感染症等の状況を踏まえながら必要に応じて検討していきます。
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	感染症対策のため、子ども部会の実施がありませんでした。感染症等の状況を踏まえながら必要に応じて参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		引き続き日々のフィードバックや面談時に保護者と関わる機会を設けます。上記以外でも、受入の際などに積極的に話をしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか		2	3	研修を行い、スキルの向上を図り、実施していけるように努めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	5			今度も丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		相談が来た際に適切な助言が出来るようにしていきます。相談しやすいような環境や関係性を築いていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	開催はありませんが、保護者同士の同意の上で連携を必要としている際に紹介したことはあります。保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討致します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			引き続き迅速に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			引き続きHP上でもそら通信やスタジオ情報の充実をしてまいります。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			引き続き配慮をしていきます。必要に応じてスタッフ間で注意をし合ったり、研修を実施します。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			引き続き、保護者に対してフィードバック時以外にも積極的にコミュニケーションを取ったり、担当のお子様ではなくても活動前後にコミュニケーションを取り、その内容を職員間で共有していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	4	感染症蔓延防止のため、実施がありませんでした。今後感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			引き続き研修を実施し、保護者周知が足りなければ周知をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	5			引き続き研修、訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			引き続き研修を実施します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	5			対象児はませんが、スタッフの理解を深め、保護者に説明できるようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか		1	4	基本的に食事提供などがなく、今年は食べ物を扱うイベントを実施していません。機会がある場合は注意喚起を行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			引き続き研修などを踏まえ、事例検討を行い安全管理に留意します。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。